



2024年8月期 第2四半期 連結決算説明資料

ktk ケイティケイ 株式会社
代表取締役社長 青山 英生

東証スタンダード/名証メイン 証券コード:3035

1	2024年8月期 第2四半期決算概況	2
2	2024年8月期 業績予想	12
3	2024年8月期 第2四半期までの取り組み	14
4	参考資料	18

1 2024年8月期 第2四半期決算概況

- ・売上、利益とも第2四半期予想を上回ったものの（次ページ参照）、前年同期における半導体不足解消時の特需の反動や大型案件の減少、ペーパーレス化による影響があり、売上高は前年同期比でほぼ横ばい
- ・株式会社イコリスが展開するEC事業が引き続き堅調に推移し、売上・利益に貢献
- ・ITソリューション事業の先行投資や、グループ会社のオフィス環境整備に伴う一時的なコスト増が利益を圧迫
- ・政策保有株式の売却により、四半期純利益は増益

	2023年8月期 第2四半期	2024年8月期 第2四半期	前期比
売上高	8,639百万円	8,652百万円	100.2%
営業利益	190百万円	147百万円	77.4%
経常利益	251百万円	209百万円	83.3%
EBITDA ※	314百万円	274百万円	87.2%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	154百万円	159百万円	103.7%

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

2024年8月期 第2四半期決算概況

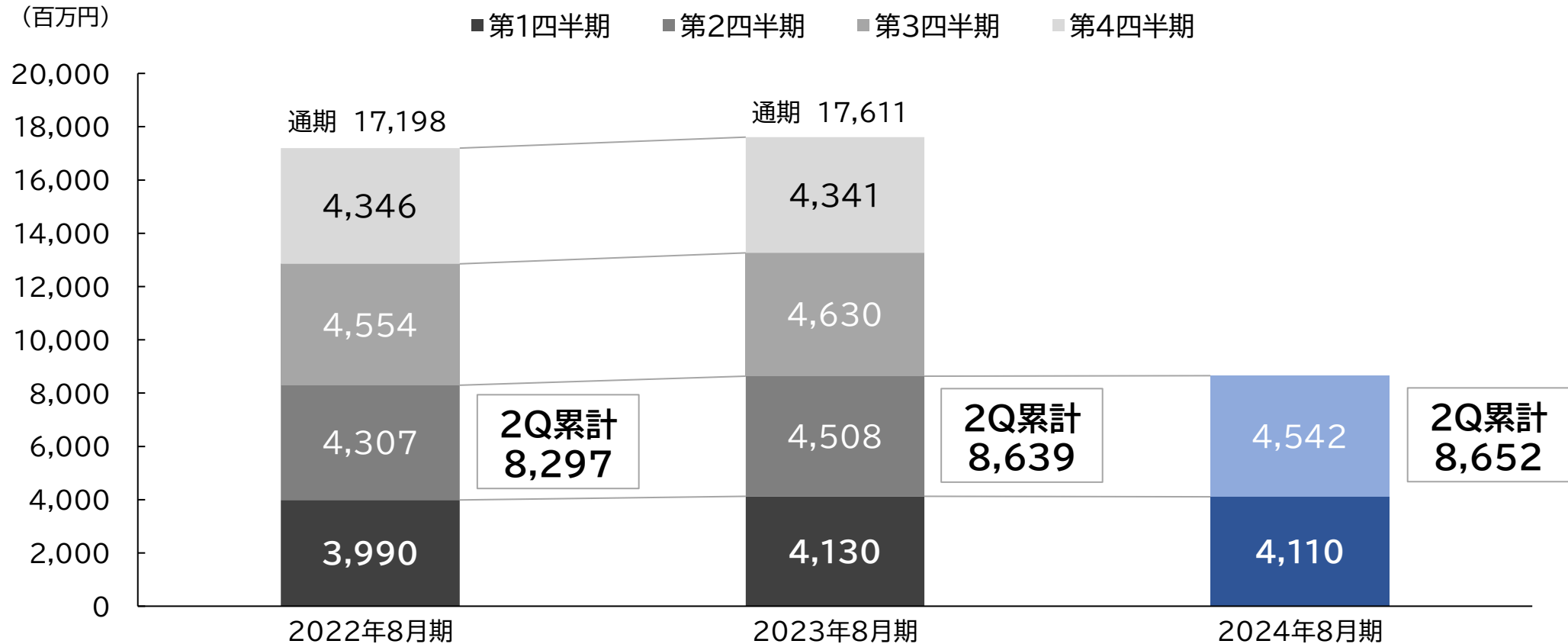
(百万円)

	2023年8月期		2024年8月期					
	第2四半期	通期	第2四半期	前期比	第2四半期 予想	達成率	通期予想	進捗率
売上高	8,639	17,611	8,652	100.2%	8,611	100.5%	18,000	48.1%
売上総利益	1,982	3,983	2,042	103.0%	—	— %	—	— %
営業利益	190	361	147	77.4%	140	105.3%	380	38.8%
経常利益	251	466	209	83.3%	193	108.3%	480	43.6%
EBITDA※	314	591	274	87.2%	262	104.8%	624	44.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	154	310	159	103.7%	124	128.9%	315	50.7%
1株当たり 四半期(当期)純利益	円 銭 28.49	円 銭 57.26	円 銭 29.41		円 銭 22.82		円 銭 57.92	

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

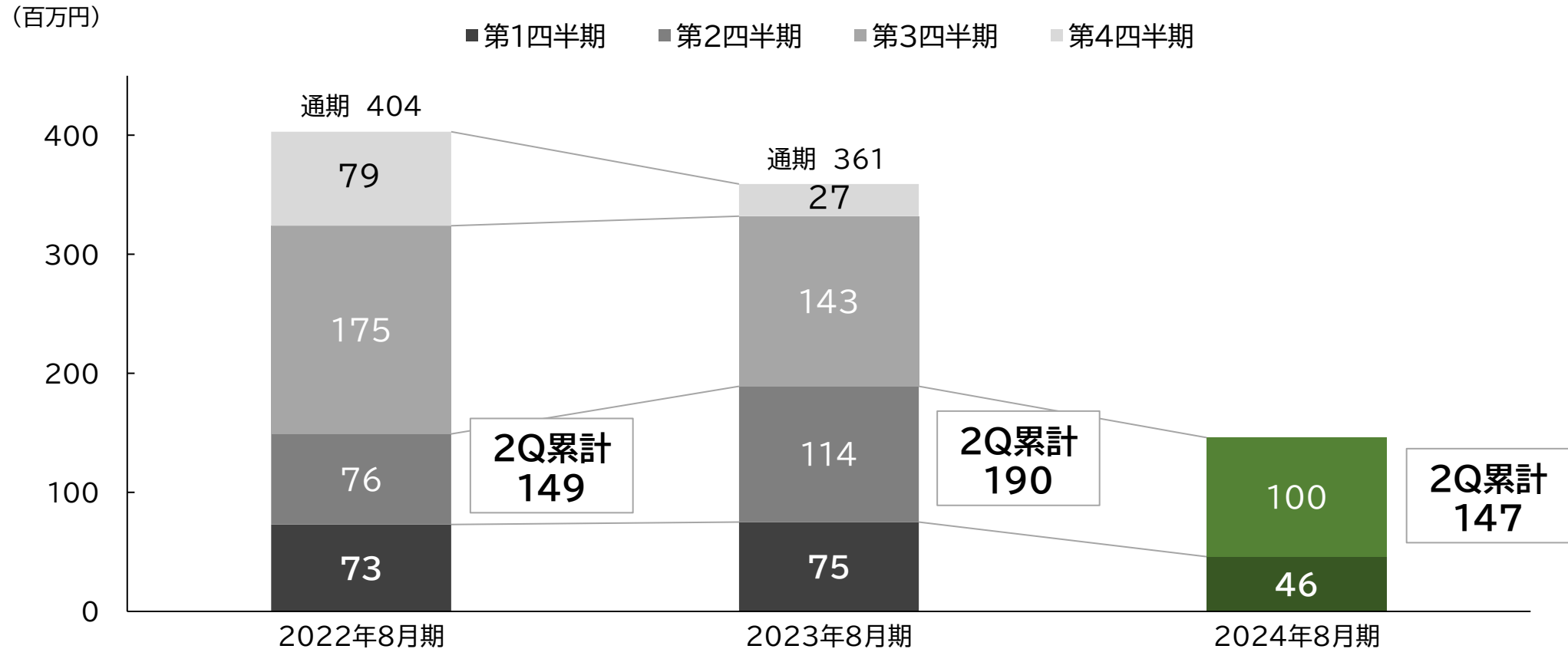
四半期毎の売上高の推移

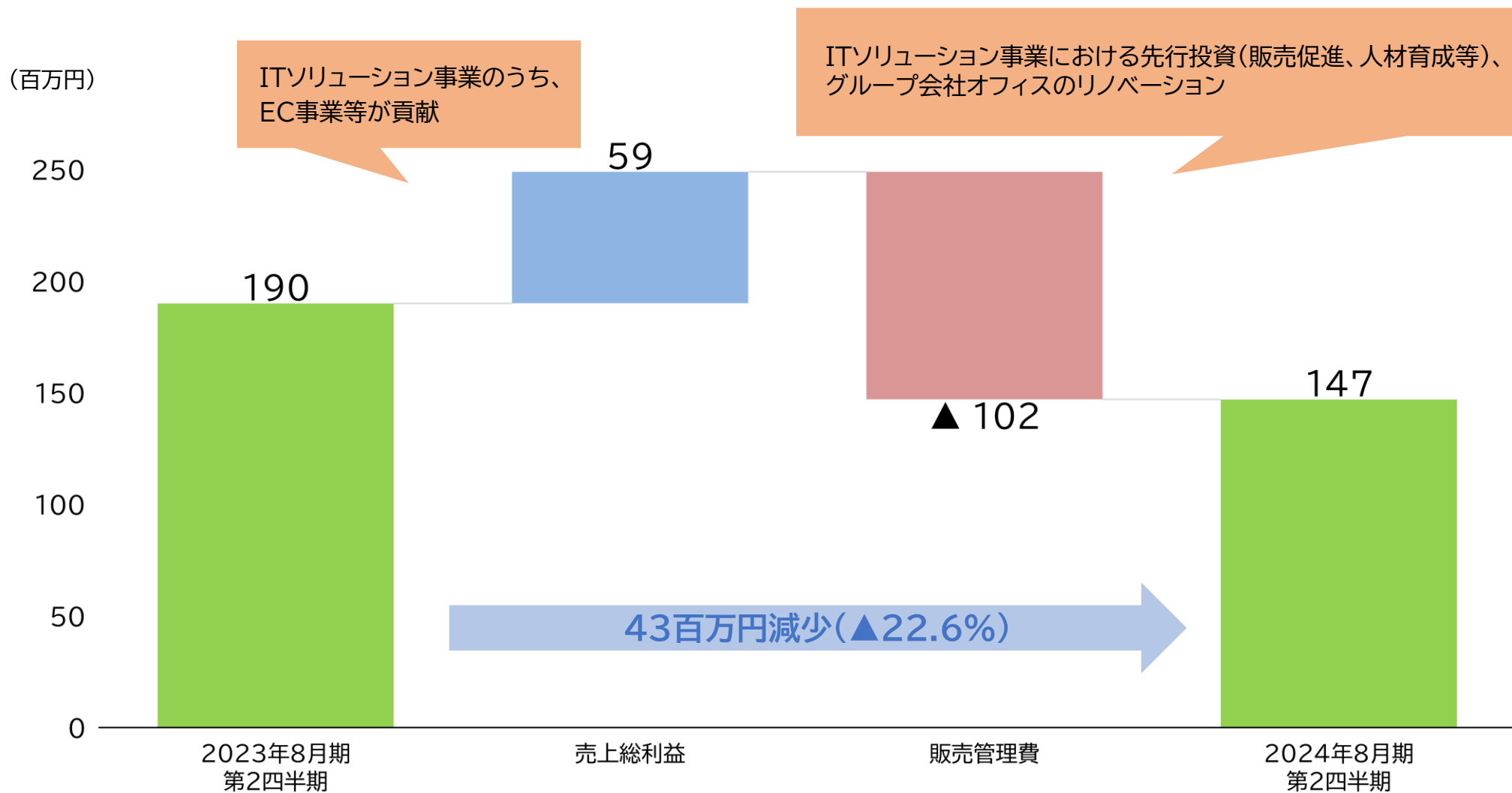
EC事業が堅調に推移したものの、前年同期における特需の反動やペーパーレス化による影響を受けたことで、売上高はほぼ横ばい



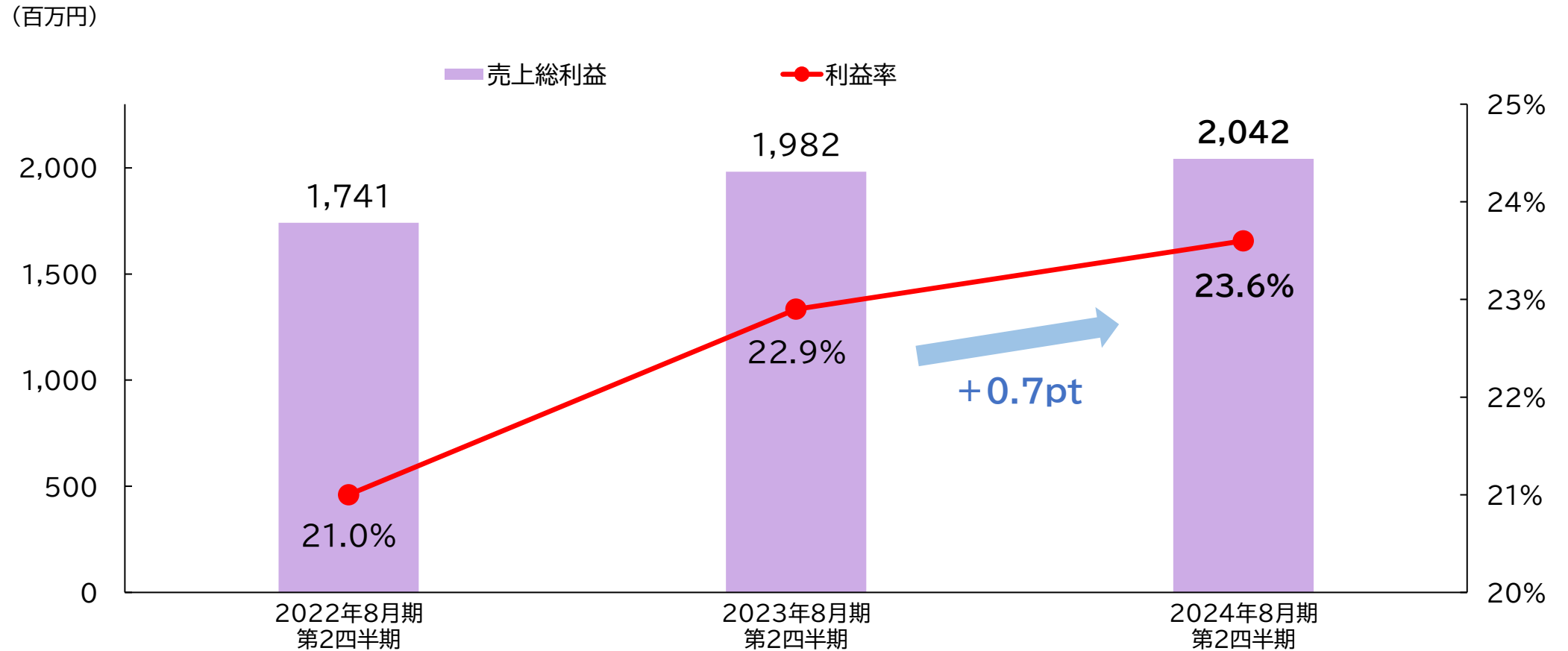
四半期毎の営業利益の推移

利益率の高い自社製品の拡販が鈍化したことに加えて、ITソリューション事業における先行投資(販売促進、人材育成等)やグループ会社の環境整備(一部フロアのリノベーション、ライブオフィス化)に伴う一時的な費用が増加したことで利益が減少





収益性の高いEC事業の順調な伸長により、利益額と利益率が向上

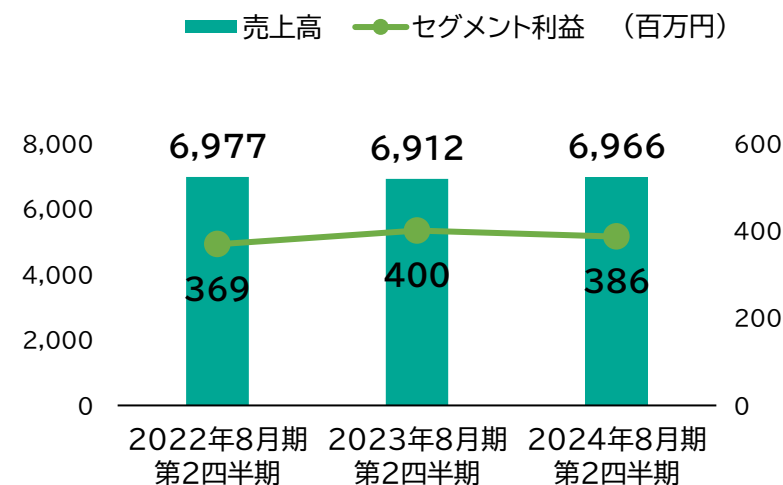


セグメント別実績(サプライ事業)

(百万円)

	2022年8月期 第2四半期	2023年8月期 第2四半期	2024年8月期 第2四半期	前期比
売上高	6,977	6,912	6,966	100.8%
セグメント利益	369	400	386	96.5%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



サプライ事業の概況

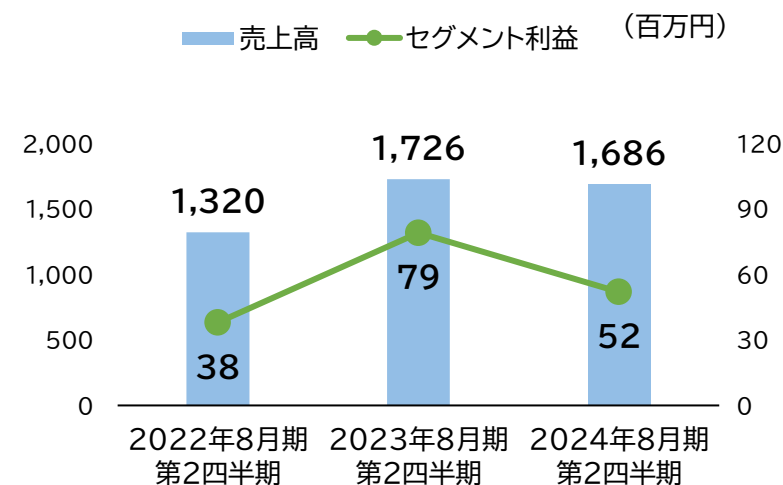
- ・売上高はわずかに増加
- ・ペーパーレス化の普及や新規開拓活動の停滞による影響で、利益率の高い自社製品の拡販が鈍化したことにより、利益が減少
- ・現在、自社製品の新規営業活動に注力中

セグメント別実績(ITソリューション事業)

(百万円)

	2022年8月期 第2四半期	2023年8月期 第2四半期	2024年8月期 第2四半期	前期比
売上高	1,320	1,726	1,686	97.7%
セグメント利益	38	79	52	65.7%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



ITソリューション事業の概況

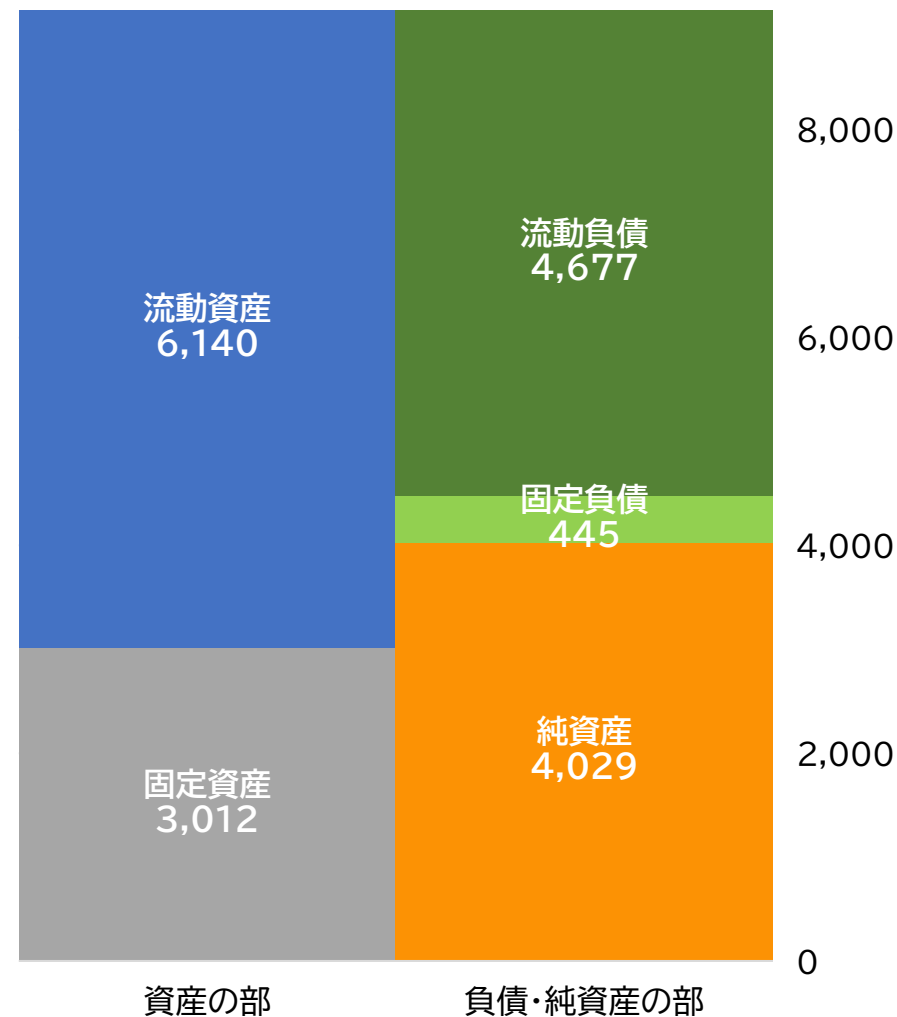
- ・株式会社イコリスが展開するデジタルマーケティングを駆使したEC事業が貢献したものの、複合機販売等の売上・利益は、前年同期の半導体不足解消時の需要増加に対する反動等により減少
- ・販売促進及び人材への先行投資によるグループ各社のコスト増が利益を圧迫

貸借対照表

(百万円)

	2023年8月期	2024年8月期 第2四半期	増減額
流動資産	5,478	6,140	661
現金及び預金	2,236	2,689	453
受取手形及び売掛金	2,487	2,648	160
商品・その他の資産	754	802	47
固定資産	2,974	3,012	38
有形固定資産	1,585	1,584	▲0
無形固定資産	344	351	7
投資その他の資産	1,044	1,076	32
資産合計	8,452	9,153	700
負債合計	4,576	5,123	547
流動負債	4,113	4,677	564
固定負債	463	445	▲17
純資産合計	3,876	4,029	153
負債純資産合計	8,452	9,153	700
自己資本比率	45.9%	44.0%	▲1.9pt

(百万円)



2 2024年8月期 業績予想

2024年8月期 業績予想

2024年8月期通期の計画、配当予定に変更はありません

(百万円)

	2023年8月期(実績)		2024年8月期(計画)				
	金額	利益率	金額	利益率	前期比		
売上高	17,611	—	18,000	—	102.2%		
営業利益	361	2.1%	380	2.1%	105.2%		
経常利益	466	2.7%	480	2.7%	102.8%		
EBITDA ※	591	—	624	—	105.7%		
親会社株主に帰属する当期純利益	310	1.8%	315	1.8%	101.5%		
1株当たり当期純利益	円 銭 57.26	—	円 銭 57.92	—	—		
— 株 配 当	円 銭 15.00	中間	円 銭 8.00	期末	円 銭 8.00	合計	円 銭 16.00
配 当 性 向	26.2%		27.6%				

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

3 2024年8月期 第2四半期までの取り組み

自社製品の拡販／リユース率向上

顧客とともにサーキュラーエコノミーを実現する新システム 『サステナブルパートナープログラム』

リサイクル製品を通じた循環ビジネスモデルによる顧客との関係性の構築に向け、トナー装着(QRコード読取)を起点とした新たな顧客参画型システムの運用を開始 専用アプリも近日リリース予定

QRコード読み取りによる返却・在庫補充

発注・返却の自動化による適正な在庫運用で注文ミスや発注忘れを防止

「環境貢献値」の数値化

企業価値、イメージの向上



確実な回収体制と再資源化

使用済みカートリッジを資源として確実に回収・再生することで、廃プラスチックや実質CO₂排出量を削減

トレーサビリティの確保

顧客の利用状況を把握(データの可視化)することで、計画生産・工場在庫縮減を実現

展示会・セミナーの開催

青雲クラウン『Business Solution 2023』を開催

ITソリューション、電帳法対応、MRO、オフィス家具等の取り組み強化カテゴリを中心にプル型のマーケティングを展開
およそ880名のユーザーが来場し、受注も前年比115%と好調



ITソリューション特化型WEBメディアの公開

情報システム担当者のパートナー

『ケイティケイ ITソリューション』をオープン



イコリスの技術・知見を投入し、情報発信のためのWEBメディアを立ち上げ

ケイティケイ
IT solution
情報システム担当者のパートナー



<https://ktk.gr.jp/forbiz/it-solution/>

イコリス新商品の開発・販売

販売商品のラインナップを拡充

- サプリメント：12商品
 - 化粧品：5商品
- 合計17商品の販売を開始



サプリメントは販売実績のある既存商品の姉妹品が中心
化粧品も挑戦的な位置付けとしてリリース

IR活動の強化

株主・個人投資家に向けた情報提供

株主・投資家の皆様に当社のことをより一層ご理解いただくため、情報発信の機会を増やすべくIR活動を強化



◀ 名証IRエキスポ2023



個人投資家向けIRセミナー ▶



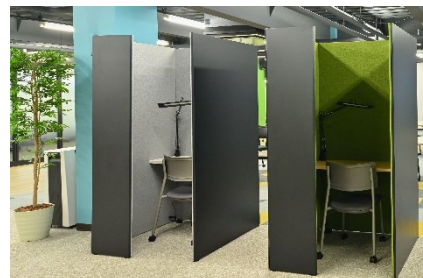
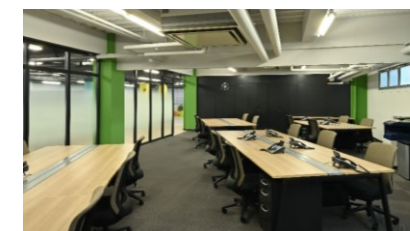
グループ会社オフィスのリノベーション

青雲クラウンのオフィスの一部をライブオフィス化

エンゲージメント向上を図るとともに、交流の場としてのオフィス活用を目指し、グループビジョン“Change the office mirai”を体現するオフィスへリノベーションを実施



◀ フリーアドレスに対応したWi-Fi環境構築



◀ WEB会議や電話ができる個室ブースも完備



◀ デザインと機能性を兼ね備えたオフィス家具

4 參考資料


□ スキャニングサービス等を展開する東海桜井株式会社をグループ会社化

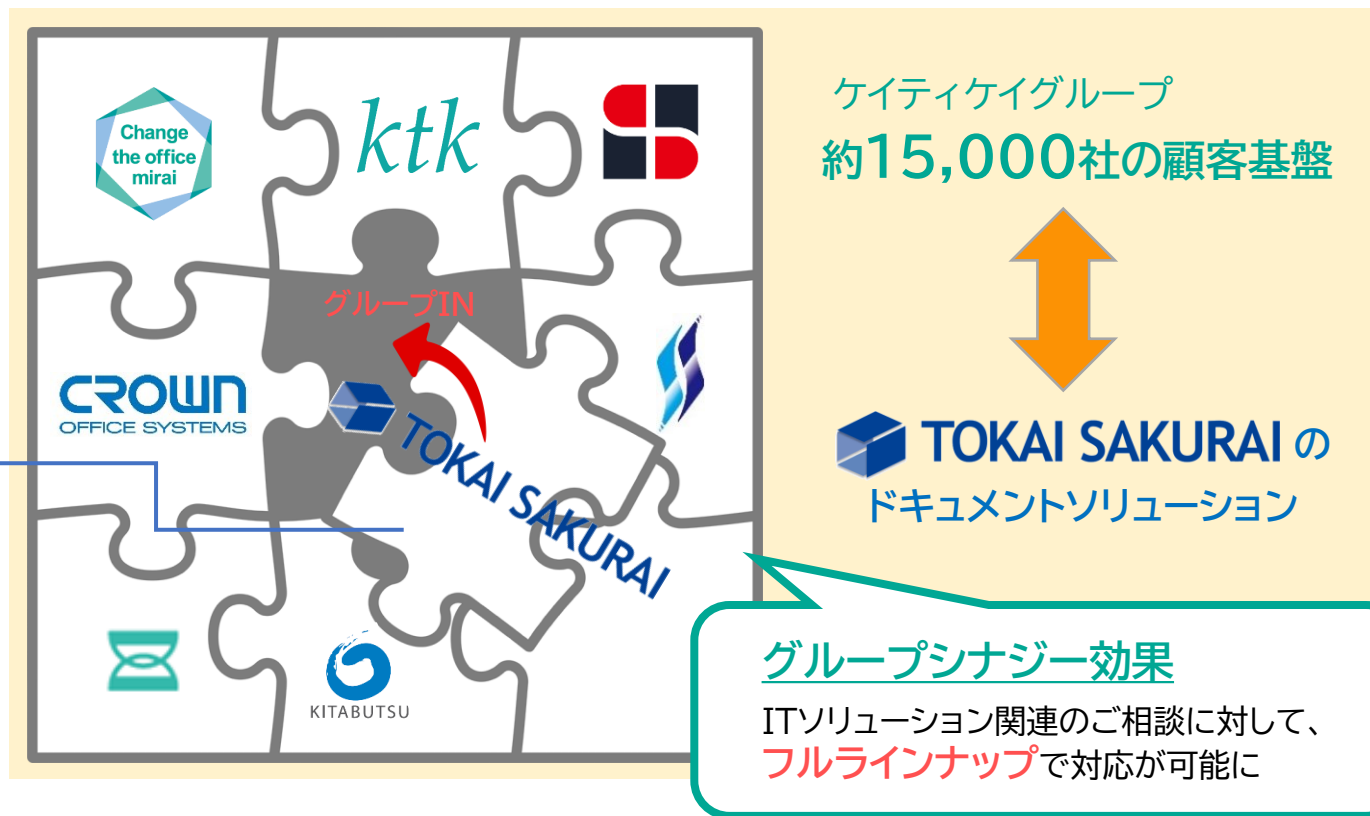
当社グループの顧客基盤及びITソリューション技術と、東海桜井がもつ高度なノウハウの双方を活かすことで大きなシナジーを創出

『スキャニングサービス』

オフィス等で保管している紙図面・紙書類等の文書をデータ化するサービス

電子帳簿保存法の改正に伴い、需要が急速に増加

ファイル文書	紙図面	報告書・契約書等	領収書・帳票
			
\このような心配を安心に変えます/			
 紙の劣化 や傷み	 保管場所 の確保	 災害による 損失	



当社グループのITソリューション技術ではこれまで対応できていなかった領域に対して、東海桜井がもつドキュメントソリューションのノウハウを加えることで、顧客の幅広い課題をカバー

□トナー・オフィス用品の総合通販サイト『YORIDORI』 各種新機能をスタート

1. 当社のリサイクル製品利用による「環境貢献」の値を一目で実感できる機能を搭載



当社製品を利用することで達成した「環境貢献度(廃プラスチック削減量と実質CO₂削減量)」を数字で表示し、実際に知ることのできる新機能を実装

【環境貢献値の表示イメージ】



2. 新規会員登録の受付を開始

既存顧客だけでなく、インターネットからの新規法人顧客をはじめ、SOHOや個人のお客様も新規会員登録が可能に

3. YORIDORIポイント制度の新設

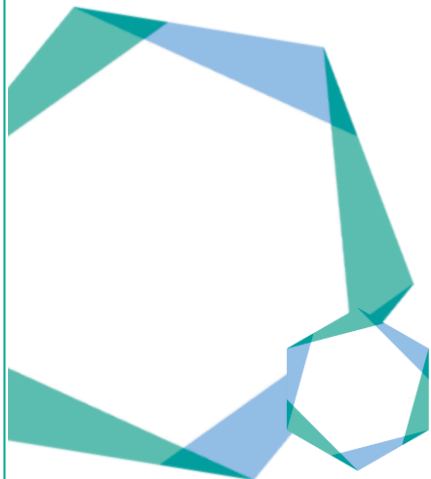
環境貢献を意識したお得なポイント制度を開始
当社リサイクル製品は、使用済みカートリッジの回収でもポイントを進呈

YORIDORI
<https://www.yoridori.jp/>



ITソリューション事業拡大の取り組みに関する
当社の記事が掲載されました

2024年2月27日 中部経済新聞3面



ITソリューション事業拡大へ

リサイクルトナーのケイティケイ



リサイクルトナーのイメージ

上場企業分析

ケイティケイの主力は、リサイクルトナーの製造販売などを行っているケイティケイ(本社名古屋)は、複写機の導入促進を行うITソリューション事業の拡大に取り組んでいる。リサイクルトナーを販売する主力のサライ事業は、ペーパーレス化やテレワークの継続を背景に、大都市を中心に需要が減少傾向にあることから、新たな収益の柱を確立したい考え。ITソリューション事業の2023年8月期の売上高は前年比18.4%増の34億円を、期予想も2桁成長を見込んでいる。(中村光希)

よるオフィス環境の変化で市場が縮小する中でも、紙の需要が旺盛な医療業界や物流業界などに向けた営業活動を注力し、売り上げ維持を図りたいと考えている。

ITソリューション事業は、ペーパーレス化の支援などの強化に取り組んでいる。昨年10月、サライ事業を補完する。全体売上げに占める割合が約割。ITをイコノミの知見を生かして、購入履歴に応じたレコメンド(おすすめ)機能を搭載するなど利便性の高いサイトに刷新した。

今後の知見を持つ人材の採用強化などで取り組みを加速し、グループ全体の売上げと利益の牽引を期待している。

ケイティケイは24年8月期中期経営計画の最終年度を迎える。現時点の通期予想では数億円の増加分を見込んでいる。売上高100億円は達成しないものの、売上高は前年比15%増の100億円、純利益は1.5%増の3億1500万円を予想している。

2桁成長で、収益の柱に

ベンチャー対象にM&A検討

業績推移

売上高 (億円)

年度	売上高 (億円)
2018	160
2019	165
2020	170
2021	175
2022	180
2023	190
24.8	200

純利益 (億円)

年度	純利益 (億円)
2018	2.2
2019	3.2
2020	3.1
2021	3.0
2022	3.0
2023	3.1
24.8	3.2

今年発表 予定の27年 8月期を最終年度とする中期経営計画では、5年間で数億円規模の投資を計画しており、M&A(企業合併・買収)やインターネット戦略の強化にかかる費用を計上する。葛西沼田事務所は「ITの事業成長につながる協力を有し、幅広い顧客層に事業成長を目指すベンチャー企業や、事業本線を課題を抱える同業の個人事業主を対象にM&Aを検討している」と話している。(毎週火曜日に掲載)

駒ヶ根市『ウミガメプロジェクト』への参画

長野県駒ヶ根市と赤穂高校(同市)が連携して進める人材育成事業『ウミガメプロジェクト』に賛同し、事業の一環である「地域探究講座」にて当社のSDGsに関する取り組みを子ども達に伝える活動を行いました

テーマ	分野	内容	講師
脱炭素アクション (企業×高校)	SDGs	SDGsを理解し、企業の取組事例から学校で実践	ケイティケイ



当社駒ヶ根工場見学をはじめ、SDGsに関する講義や研究を実施

- 活動期間: 2023年6月～2024年3月
- 受講生徒: 12名



SDGs情報メディア『EARTH NOTE』



EARTH NOTE

<https://www.yoridori.jp/earth-note/>



企業・自治体のインタビュー記事や、様々なお役立ち情報を発信



48の企業・団体様にご賛同いただき、取材記事を掲載中 (2024年3月現在)



発表会の様子

(単体)



「ktk FactBook 2023」より
(2023年11月 開示)

男女の賃金の差異		50期 2021年8月期	51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	目標
男女間賃金格差	%	76.9	77.5	78.6	90.0
男性 平均給与	千円	4,560	4,677	4,651	—
女性 平均給与	千円	3,508	3,624	3,655	—

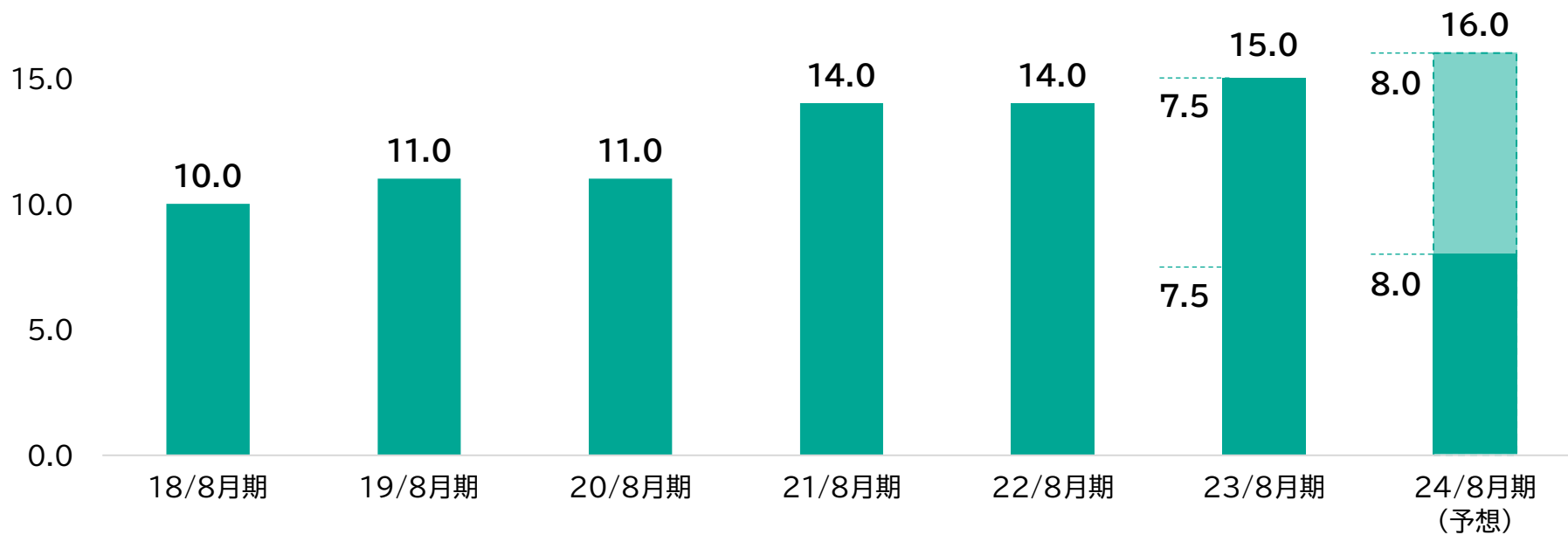
管理職に占める女性の割合		50期 2021年8月期	51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	目標
女性管理職比率	%	6.4	6.5	8.0	20.0
女性 管理職数	名	3	3	4	—

男性の育児休業取得率		50期 2021年8月期	51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	目標
男性育児休業取得率	%	50.0	0.0	50.0	100.0
男性 取得者数(対象者数)	名	1 (2)	0 (3)	2 (4)	—

配当方針

連結配当性向30%を目途に、成長に向けた投資との調整を図りつつ、安定的な株主還元を実施

1株当たり年間配当額の推移(円)



配当性向	32.9%	29.1%	26.2%	22.6%	23.9%	26.2%	27.6%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝し、当社グループに対するご理解を一層深めていただくことを目的に株主優待制度を導入

(1) 対象となる株主様

8月20日現在、当社株式**20単元(2,000株)以上保有**の株主様

(2) 優待内容


「**ケイティケイ・プレミアム優待倶楽部**」を新設

保有する株式数に応じて**ポイントを進呈** ポイント数に応じたお好みの優待商品への交換が可能

1年以上継続保有の株主様には**長期保有特典**あり



※ 優待商品イメージ

商号	ケイティケイ株式会社(ktk INC.)	
設立	1971年6月29日	
資本金	2億9,467万円	
代表取締役	青山 英生	
従業員数	172名	
拠点	営業拠点 19拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点	
事業内容	リサイクルトナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売	

■WEB発注システム

約40,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム
お客様専用カスタマイズも可能

YORI DORI

約600,000点の豊富な商品を掲載する
ITソリューション専門のBtoB通販サイト

YORI DORI+plus

■拠点情報

【生産拠点】 ●
駒ヶ根工場・春日井工場
【物流拠点】 ●
駒ヶ根物流・小牧物流

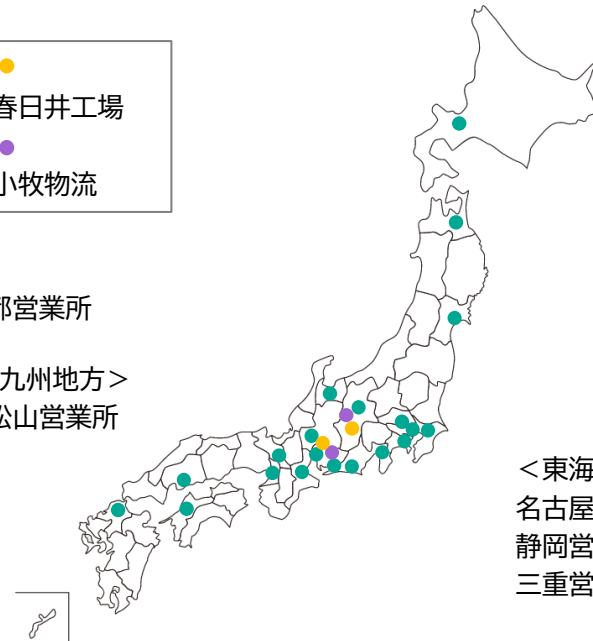
<関西地方>
大阪支店・京都営業所

<中国・四国・九州地方>
広島営業所・松山営業所
福岡営業所

【営業拠点】 ●
<北海道・東北地方>
札幌営業所・青森営業所
仙台営業所

<関東地方>
東京支店・横浜営業所
埼玉営業所・千葉営業所

<東海・北陸地方>
名古屋支店・富山営業所・松本営業所
静岡営業所・浜松営業所・岐阜営業所
三重営業所



■自社生産のリサイクル商品

主力のリサイクルトナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点(名古屋/岐阜/津/豊橋/長野)
事 業 内 容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従 業 員 数	73名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点(小牧)
事 業 内 容	ロジスティック事業/倉庫業
従 業 員 数	4名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管

株式会社イコリス



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	デジタルマーケティング/EC事業
従 業 員 数	4名

ネットビジネスのアルゴリズム解析のノウハウを生かしたWEB広告、デジタルマーケティング、EC運営支援、サプリメントなどを取り扱うEC事業

SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点(名古屋/岐阜)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	32名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点(瀬戸)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	4名

愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器など、オフィスに必要なIT機器を提供

東海桜井株式会社



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	CAD・図面関連/ITソリューション
従 業 員 数	8名

図面用消耗品販売、図面用製本の作成、図面・書類のスキャン・電子化、CAD・プロッター等の機器・システムの販売、複合機等 OA 機器のレンタルなどを展開

■ 経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、お客様にお喜びいただき、社会に貢献する”

■ 長期ビジョン

Change the office mirai

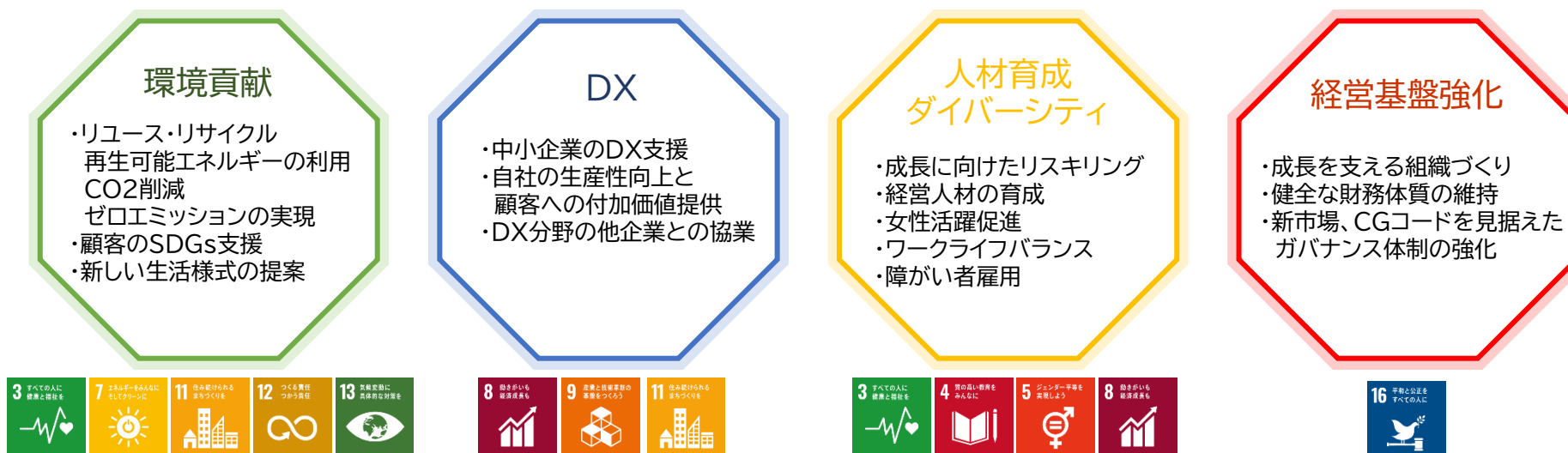
社会を変える
リユース・リサイクルが当たり前のミライを目指し、SDGs・循環型社会に貢献します

お客様のオフィスを変える
お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます

自分たちが変わる
社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、自分たちのミライを変えていきます

■ サステナビリティ基本方針

「ケイティケイは、事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります」





Environment(環境)

- ・ リユース・リサイクルビジネスを通じた顧客のSDGs支援
- ・ 再生可能エネルギー利用によるCO2削減や、ゼロエミッションの実現
- ・ 感染予防や環境負荷軽減に資する商品販売を通じた新たな価値の提案



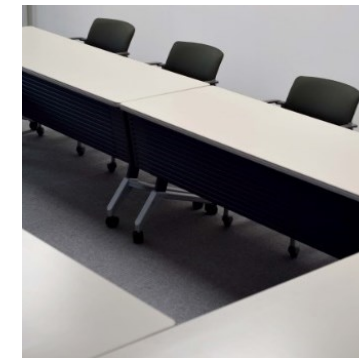
Social(社会)

- ・ 成長に向けたリスクリング
- ・ 経営人材をはじめとした次世代育成
- ・ 女性の活躍促進
- ・ ワークライフバランス、健康経営
- ・ 障がい者雇用



Governance(企業統治)

- ・ 成長を支える組織体制の整備
- ・ 健全な財務体質の維持・向上
- ・ コーポレートガバナンスの高度化

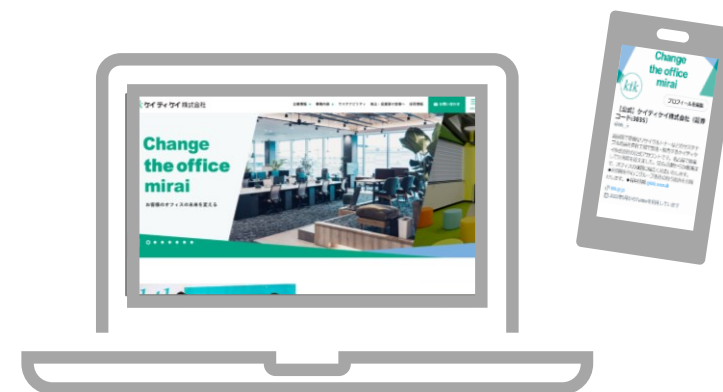


本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性があります。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 IR担当
所在地	愛知県名古屋市東区泉2-3-3
電話	052-934-2260
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	https://www.ktk.gr.jp/
X(旧:Twitter)	@ktk_ir





見やすく読み間違いにくい
ユニバーサルデザインフォント
を使用しています